



# 市長との約束 2017

私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

水道部長

中川 博

約束内容	災害時における迅速対応の確立
達成目標	水道部職員，包括業者，復旧業者，応援自治体職員それぞれの関わりを包括した災害対応マニュアルの実行版を第1四半期までに作成し，年度内に実施訓練を行います。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%）★★★★☆
達成状況	実行マニュアルについては，第2四半期までに纏め上げ，12月に職員・包括委託業者とともに机上による災害訓練を実施し，災害時の各セクションの行動について確認することができました。
今後の課題 解決策	訓練を通して，不足する事項や改善事項など確認できましたので，来年度は今期の問題点を踏まえ，現地と本部による訓練を実施し，実際携わる職員の災害時の対応力の向上を図ってまいります。

約束内容	効率的な管理運営
達成目標	遊休施設解体処分計画及び施設管理台帳の充実化を年度内にまとめ上げ，また，効率的配水を目指し今年度の有収率についても82%台を確保します。
達成度	S 達成目標を上回る（100%を超える）★★★★★
達成状況	目標である遊休地の解体処分計画の作成と，施設管理台帳に施設概要と底地情報を一体化させ効率的な管理へ繋ぐことができました。また，今年度の有収率についても，平成28年度末の上水道で82.62%（簡水含みで82.42%）に対し，2月上旬現在で84.18%まで向上しました。
今後の課題 解決策	遊休地処分については，貸付も含め大切な自主財源となるので，今後積極的に進めてまいります。施設管理台帳については，今回纏め上げたことで相当使いやすくなりましたので，今後の効率的な活用を期待しております。また，有収率については，漏水調査と速やかな修繕により効果が数字に表れておりますが，未だに鳴子温泉地域と岩出山地域の各旧簡易水道区域の率が低い状況にあります。今後も調査の継続と管路更新を組み合わせながら，率の向上に努めてまいります。

約束内容	経営基盤の強化
達成目標	今年度決算における純利益を1億円以上とします。
達成度	S 達成目標を上回る（100%を超える）★★★★
達成状況	純利益の見込みは、12月末現在の試算では3億円程度と想定しております。その理由としては、昨年に比べ給水収益が予想より上回ったことや、他会計補助金・負担金の繰入額の増額や退職給付引当金戻入益などが計上されたことによるものです。
今後の課題 解決策	今後も水道料金の高収納率となるよう包括委託業者と連携しながら進めてまいります。また、料金以外のあらゆる収益についても方策を検討してまいります。

約束内容	持続可能で安心な水道水提供のために 「水教育と技術の継承」
達成目標	①次世代を担う子供達に、水への親しみ・大切さを学んでもらい、将来も安心して飲める水の利用拡大につなげます。 ②水道技術を持続されるため、水道職員・工事業者技術者全体の底上げを行います。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%）★★☆☆
達成状況	①については、企画倒れに終わりましたが、来年度は、6月の水道週間での実施と水源から下水処理までの水の循環について、今年同様企画していきます。 ②水道職員の研修実施については、管理部門、技術部門の全職員に日常業務の合間に研修を受講し、それぞれのセクションでのスキルアップを図っていただきました。また、工事業者技術者の技術研修会を12月に開催し、発注者・受注者共通理解を深めることができました。
今後の課題 解決策	水に親しむ企画は今後も続け、市の上水道に関心を持ってもらう努力をしてまいります。また、徐々に水道に精通する職員が少なくなっていく中で、今後も職場内外の講習・研修を積極的に進めると同時に、工事業者技術者も共に技術向上が図られるよう定期的な研修会を続けていきます。